

## 本学厚生施設における集団食中毒の発生について

この度、本学厚生施設である山中セミナーハウスにおいて発症した食中毒症状につきましては、発症された利用者ならびに学生の保護者の方々、その他関係の皆様には多大なご迷惑をお掛けいたしました。心からお詫び申し上げます。

食中毒が発生した経緯等について、以下のとおりご報告します。

発症日	2019年3月9日前後 3月13日に、3月8・9日で利用した団体の参加者から、参加者15名のうち12名から、以下の症状が出ているとの報告があり、本学は3月13日、管轄保健所へ報告し、調査を依頼しました。
症状	下痢、腹痛、嘔気、嘔吐、発熱（37.5～39.2℃） 現在のところ、利用者は全員快方に向かっております。
原因	保健所の調査により、委託業者（東京ケータリング株式会社）の調理従事者及び発症された利用者の検体から、「サポウイルス」が検出され、保健所は、当施設で提供された食事を原因とする食中毒と断定しました。
利用者及び発症者数	3月9日～14日までに利用した本学学生、本学教員とそのご家族96名のうち、32名が発症しました（発症者数は、本学から利用者への聞き取りによる）。

このことを受け、本学では当面の間、山中セミナーハウスの利用を停止し、保健所の指導に従い、全館の消毒及び清掃を実施しています。

今後は、施設の衛生管理を徹底し、二度とこのようなことがないよう努力いたします。

2019年3月25日

明 治 大 学